※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA１　教育芸術社						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト等で評価します。実技テストは、授業中に受講生の前で披露する発表会の形式で行います。
・音楽の学習は仲間と共に実際にやってみて、試してみてこそ価値のあるものとなり、そのような活動を通じて感性が豊かになります。
・音楽が生涯ずっと皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願います。

２　学習の到達目標

a.　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
b.　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
c.　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	表現を工夫してリコーダーを演奏する	＜器楽＞ 表現方法の工夫	a:曲想とリコーダーの音色や双方との関りについて理解している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関り、およびアーティキュレーションに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察	実技テスト	ワークシート
	音楽の要素から良さや美しさを知る	＜鑑賞＞ 「音楽を織りなすさまざまな要素」 組曲「動物の謝肉祭」 など	a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関りについて理解している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c: オーケストラや様々な楽器の音色や響きの組み合わせによって展開されながらもたらす、表現上の効果に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	小テスト		ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	表現を工夫して演奏する	＜器楽＞ ギターの基本的な奏法 様々な楽器によるアンサンブル	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解する。 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他社との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 c:楽器の奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。		実技テスト	ワークシート
	作曲家を知り鑑賞する	＜鑑賞＞ 作曲家の生涯と作品をたどろう	a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、および音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活度に取り組もうとしている。	観察		ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	和楽器を演奏しよう	〔器楽〕 箏の基本的な奏法	a:伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。 d: 伝統音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察	演奏の聴取	ワークシート
三学期	一年間の成果を披露しよう	〔歌唱〕 混声３部合唱 表現の工夫 〔器楽〕 様々な楽器による伴奏	a:自分たちの表現を人に伝えられるように演奏するということに興味･関心をもっている。 b:歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを生かして創造的に表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるための演奏技術を身に付けている。 d:発表を通して音楽経験を豊かにするとともにそれぞれの演奏について評価し合い、演奏内容の理解を深める。	観察	実技テスト	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度